

子ども育成・若者活躍推進特別委員会行政視察報告

子ども育成・若者活躍推進特別委員会では、日立市と豊中市を行政視察しました。

概要は以下のとおりです。

(実施期間) 令和7年11月18日～令和7年11月20日

(視察都市) 日立市、豊中市

(視察内容) 日立市：ひたち若者かがやきプランについて

豊中市：放課後の子どもの居場所づくりの充実について

[日立市]

日立市では、ひたち若者かがやきプランについて説明を受けた。

日立市では、若者が転出してしまう現状を変えるため、行政だけでなく若者と一緒に考えて取組を行うためにひたち若者かがやきプランを策定し、若者視点での魅力発掘と発信に取り組む団体としてひたち若者かがやき会議を設立した。

ひたち若者かがやき会議の主な活動内容としては、市内外の若者が一堂に集まり、日立市の未来について意見交換や交流を行う若者会議全体会、点在する若者や活動している若者グループをつなぐ「場づくり」やSNS等による会議の活動紹介やひたちの魅力を「発信」することをキーワードとしたプロジェクトチームをつくり、日立市発祥の球技であるパンポン体験やTikTokクリエイター講座、県内バスツアーなど様々な活動を行っている。

委員からは、事業における市の体制や、ひたち若者かがやき会議に参加する若者への具体的な支援に関することなどについて質問が出された。



(日立市での視察風景)

[豊中市]

豊中市では、放課後の子どもの居場所づくりの充実について説明を受けた。

豊中市は、放課後等の児童の居場所づくり事業として、放課後の時間帯における子どもの見守りや学習支援を行う機会をつくり、すべての子どもが放課後に安全で安心して豊かな時間をすごすことができるよう取組を行っている。

具体的な取組としては、市内在住の小学校1～6年生を対象に、午前7時や放課後の時間帯で校庭や体育館等の開放を行い、児童が安全に活動できるよう見守り員を配置した支援を行っており、児童がけが等をした場合でも任意の登録制を実施することで、学校を経由せずに連絡を行える体制をつくっている。

また、市内在住の小学校5、6年生を対象に放課後の学習支援を行う機会をつくっており、市内小学校・義務教育学校の特別教室や空き教室を使い、充実した放課後時間を過ごせるよう支援を行っている。

委員からは、事業の利用状況や子どもが利用する上でのルールなどについて質問が出された。



(豊中市での視察風景)